

## 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題1

## 【区民主体のまちづくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

地域の課題や実情を最もよく知っている住民等が中心となり、多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)による活力ある地域社会が実現されている。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【区民モニターアンケート[28年度]より】

- ・住んでいる地域(おおむね小学校区)で日頃から「声かけ」、「見守り」、「助合い」、「支え合い」が行われていると感じる区民の割合: 55.9%
- ・地域活動に参加している区民の割合: 14.1%
- ・住んでいる地域(おおむね小学校区)では、地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな団体が連携・協働して進められていると感じる区民の割合: 40.5%
- ・「地域活動協議会」のことを知っている区民の割合: 38.4%
- ・住んでいる地域を越えて、地域団体や市民、NPO、企業などいろんな人たちが連携し協働することによってまちづくりに関する活動が進められていると感じる区民の割合: 26.3%
- ・地域活動を始めたいときにどうすればいいかなど地域活動に参加しやすい環境が整っていると感じる区民の割合: 15.3%
- ・「地域公共人材(地域のまちづくりを活性化させるため、中立的な立場で地域の話し合いを進め、人材・情報など地域の資源をコーディネート、ファシリテートし、地域特性に応じた活動のマネジメントを行う人材のこと)」という仕組みを知っている区民の割合: 8.5%

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- 計画
- ・人と人とのつながりが薄れていくなかで、福祉や防災といった課題への対応にあたっては、日常生活に密着した身近なつながりが重要であることを踏まえてコミュニティの形成を促進していくことが重要であり、これまで地域への支援については地域活動協議会の活動支援に重点を置いてきた。
  - ・地域活動協議会によっては、自立して活動を活発に進めている地域もあれば運営面で課題を抱えている地域もあるなど活動状況は様々である。また、「地域活動協議会」は約6割の区民に知られていない。
  - ・地域活動協議会や地域の各種団体、NPO、企業などとの連携が十分に行われていない。
  - ・市民活動に役立つ地域資源情報や支援メニューはあるものの、活動団体や区役所、まちづくりセンターの職員による活用が十分に進んでいない。また、市民活動に役立つ地域資源情報の収集・蓄積も十分であるとはいえない。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・つながりづくりの基礎となる自治会・町内会単位(第一層)の活動への支援も含め、身近な地域の中で生活課題などの解決に取り組む地域コミュニティの活性化を促す必要がある。また、地域課題の解決に向けて、地縁型団体等による地域に根差した活動の活性化とともに、テーマ型団体による地域を限定しない活動の活性化を促進する必要がある。
- ・地域活動協議会による自律的な地域運営が進むよう、地域活動協議会の認知度を高めるとともに、準行政的機能への理解や総意形成機能の充実を図る必要がある。
- ・地域活動協議会をはじめ、市民、NPO、企業などの様々な活動主体が互いに協働し、また、これらの主体と行政とが協働するマルチパートナーシップを推進する必要がある。
- ・地域活動を行う団体を支援する区役所やまちづくりセンター等の職員が、地域資源情報や支援メニューなどを活用し、団体のニーズに応じた支援情報を提供できるようにする必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 1-1 【豊かなコミュニティの促進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 若い世代やマンション住民など、より幅広い人と人とのつながりづくりが進んでいる。 地域課題の解決に向けた活動が活発に行われている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・昔から、「向こう三軒両隣」といわれるように近所に住む人同士の日常生活の中で顔見知りになる機会を設けていく。 ・自治会・町内会などの活動を支援するなど、人と人とのつながりづくりを促進していく。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ○身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 29年度: 49.9% 30年度: 52.0% 31年度: 55.0%(29年度比5%増)  ○地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合 29年度: 26.1% 30年度: 28.0% 31年度: 30.0%	・子育てや高齢者への支援、地域の安全・安心の確保、まちの美化、地域の魅力創出など、多様な分野における地域活動について、それぞれの活動の範囲やステージに応じた支援を行うとともに、活動への負担感の解消を進めることで活動の活性化をめざす。 ・地域の方々が感じている「やらされ感」「負担感」を解消し、問題意識や意欲をもって活動していただけるよう、委嘱する活動内容を見直し地域の実態に即したものとしていくとともに、補助金を出すことによって具体的な活動内容まで指定をお願いしているものではないことをしっかりと説明し理解していただく。  ・活動圏域を限定せず、地域社会の課題に取り組むテーマ型団体に対しては、支援メニューの情報を適切に提供することで、活動の活性化の支援を充実させる。 ・テーマ型団体との接点が増加するよう職員意識の向上に取り組む。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度   個別   全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A: 順調 B: 順調でない	
戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組 1-1-1 【人と人とのつながりづくり】

28決算額 - 円 | 29予算額 - 円 | 30予算額 - 円

計画	取組内容 近所に住む人同士が集まり、福祉や防災といった身近な課題に気付く日常から顔見知りになりつながっていることの大切さを感じてもらえるよう、防災訓練などの機会を捉えて啓発を行う。  若い世代をはじめ多くの人に、つながりづくりの大切さと興味を持ってもらえるよう、事例の共有や取組の情報発信を行う。  地縁による団体やグループへの加入を促進するため、地域のつながりの基礎となる自治会・町内会などのつながりづくりのための活動(マンション内での活動を含む)を支援する。  ・人と人とのつながりづくりのための啓発や情報発信、活動支援などの件数:6件	業績目標(中間アウトカム) 身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合:52.0%以上  【撤退基準】 身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合が29年度の数値未満であれば支援の方法を再構築する。  前年度までの実績 ・広報紙特集号で「日頃の地域とのつながりの大切さ」を伝える事例の紹介
	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 1-1-2

【地域に根ざした活動の活性化（第一層の活動への支援）】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	毎月開催する合同会長会議等を通じて、大阪市の施策やイベント等の行政情報を提供し、各団体の構成団体を通じて地域全体に情報を届けるなど、つながりづくりの基盤となる自治会・町内会単位のいわゆる「第一層」の活動への支援を行う。また、「第一層」単位で実施する防災訓練や防犯活動等にも積極的に支援するほか、各種の「第一層」単位で様々な活動ができるような情報提供を実施する。	自治会・町内会単位(第一層)の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じている区民の割合:29年度を上回る割合をめざす（無作為抽出アンケートによる29年度:61.8%） 【撤退基準】 自治会・町内会単位(第一層)の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じている区民の割合が29年度の数値(61.8%)未満であれば支援の方法を再構築する。
		前年度までの実績 「30年度新規事業」

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-1-3

【地域に根ざした活動の活性化（担い手不足の解消）】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域リーダーの活躍促進に向けて、29年度における区長会議のもとでの検討結果を踏まえた取組を行う。 気軽に活動に参加できる機会の提供として、広報紙や市民活動総合ポータル等で区内で気軽に参加できる場や活動の情報を発信する。 ・新たな情報発信: 12件  地域型団体への参加が少ない若い世代に向けて、活動への参加を呼びかけるため、SNSなどのICTを活用し、区HP、フェイスブックやまちづくりセンターフェイスブックなどにより、地域活動の紹介や参加を呼びかける。 地域活動への参加の機会として、「こども110番の家」への協力に向けて、GISを活用して、協力家庭の地図表示に加え、港区の犯罪発生情報(安まちメール)を地図上と一覧表に集約して発信する。	ICTを活用した市民との対話を促進する取組が新たに創出された件数: 1件以上  【撤退基準】 ICTを活用した市民との対話を促進する取組が創出されなければ、事業を再構築する。
		前年度までの実績 ・広報紙や市民活動総合ポータル等で区内で気軽に参加できる場や活動の情報を発信 29年度 16件(12月末)

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-1-4

【地域に根ざした活動の活性化（負担感の解消及び活動の充実）】

28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	- 円
-------	-----	-------	-----	-------	-----

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	委嘱をする委員等に委嘱の趣旨・目的についてしっかり理解していただく取り組みを進めるとともに、委嘱の重複がないように配慮する。 地域実情に応じた補助金の考え方について地域活動協議会のメンバーの理解を深めるとともに、各団体にとって活動目的を改めて確認するきっかけとなるよう、補助金説明会や事業毎の決算、中間決算時その他の会合等で説明等を行う。 ・補助金の活用及び活動目的に関する説明等の実施：2回 身近な地域課題に取り組む団体などの運営に関する情報を一元的に発信する市民活動総合ポータルサイトへの登録を広報紙等を通じての周知や社会福祉協議会、コミュニティ協会が把握している活動団体情報の登録を働きかける。 ・地縁系団体等のポータルサイトへの登録：3件 誰もが気軽に参加できる活動情報等を、区の広報紙、SNS、各地域発行の新聞等で周知し、活動の実践につなげる。 ・情報提供により活動の実践につながった件数：2件	各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合：29年度を上回る割合をめざす（無作為抽出アンケートによる29年度：51.7%） <b>【撤退基準】</b> 各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合が29年度の数値51.7%未満であれば事業を再構築する。
	前年度までの実績	29年度（12月末） ・地域実情に応じた補助金の活用や活動の目的について、補助金説明会等で説明を行った。（29年度 全体説明会2回、各地域説明会1回） ・地縁系団体等のポータルサイトへの登録：0件 ・情報提供により活動の実践につながった件数：6件

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）	

具体的取組 1-1-5

【校庭等の芝生化】

28決算額	1,275千 円	29予算額	1,140千 円	30予算額	290千 円
-------	----------	-------	----------	-------	--------

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	校庭等の維持管理活動を通じて、地域の豊かなコミュニティづくりを促進するとともに、子どもが緑のもとで遊べる環境をつくる。また、ヒートアイランド対策の一助とする。  専門家による技術的サポートを活用するなど、地域による取組が継続できるよう支援する。 ・専門家による技術的サポートの回数：年3回	芝生化を実施した地域住民へのアンケート結果で、住民間におけるコミュニケーションや学校との関わりが増えたと感じる人の割合：50%以上  <b>【撤退基準】</b> 芝生化を実施した地域住民へのアンケート結果で、住民間におけるコミュニケーションや学校との関わりが増えたと感じる人の割合が30%未満であれば事業の再構築を行う。
	前年度までの実績	27年度：3校に維持管理支援を実施。27年度芝生化した学校1校 28年度：3校に維持管理支援を実施。校舎増築工事に伴い、1校事業廃止 29年度：3校に維持管理支援を実施。（H30年度2校が補助事業終了）

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）	

具体的取組 1-1-6

【地域を限定しない活動の活性化（テーマ型団体）】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	多様な活動主体間の交流の場への参画などにより、テーマ型団体とのつながりをつくるとともに、テーマ型団体への支援窓口の周知や「市民活動総合ポータルサイト」の活用などにより、テーマ型団体も対象とした支援情報の提供を行う。	市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数：29年度の窓口への問合せ件数（平年度化したもの）の10%増：13件以上
	地縁型団体への参加が少ない若い世代に向けて、活動への参加を呼びかけるため、SNSなどのICTを活用し、区HP、フェイスブックやまちづくりセンターフェイスブックなどにより、地域活動の紹介や参加を呼びかける。 ・ICTを活用した市民との対話を促進する取組みの創出：1件	【撤退基準】 市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数が29年度の窓口への問合せ件数（平年度化したもの）12件以下であれば事業を再構築する。
		市民活動支援情報提供窓口の設置

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-1-7

【コミュニティ育成支援】

28決算額 10,930千円 29予算額 11,686千円 30予算額 11,603千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	コミュニティの育成や活性化を図るため、港区で活動するさまざまな団体やグループ、区民の企画段階からの参画を促し、各種イベントや講座を企画・開催するとともに、開催結果を情報発信する。 ・多くの区民が企画段階から参加できるイベントや講座の開催：年4回以上	コミュニティ促進や文化、スポーツ、子育て等のイベントや講座等に企画段階から参画した団体やグループ、個人の数：延べ30団体・個人以上
		【撤退基準】 参画した団体やグループ、個人の数延べ15団体・個人以下であれば事業を再構築する。
		前年度までの実績 ・コミュニティ部会・実行委員会：28年度28・29年度26団体・個人 ・スポーツ部会・実行委員会：28年度13・29年度12団体・個人 ・文化部会・実行委員会：28年度15・29年度21団体・個人 ・子ども部会・実行委員会：28年度18・29年度13団体・個人 ・区民が企画し実施するイベントをH28年度6回、29年度6回開催予定。 ○プロスポーツとの連携 ・28年度セレッソ・シュライカーエヴェッサ区民デー等：146名 ・29年度セレッソ区民デー等：134名

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

28決算額	291千円	29予算額	409千円	30予算額	266千円
-------	-------	-------	-------	-------	-------

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域の学習ニーズに応える講座や社会的課題に対応した学習機会の提供のほか、「まなび」を基本とした教育コミュニティ(生涯学習ルーム・はぐくみネット)を中心に市民同士が交流を図り協働する中で市民力をまちづくりにつなげるとともに、「ひと」・「まち」・「まなび」をつなぐ多様なネットワークづくりをすすめる。あわせて、誰もが気軽に参加できる活動情報等を、区の広報紙、SNS、各地域発行の新聞等で周知する。	春いちばんふれあいフェスティバルへの参加者数:800人以上 【撤退基準】 ・上記参加者数が560人未満となった場合、事業の再構築を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の提供</li> <li>・生涯学習ルーム一覧の発行</li> <li>・生涯学習推進員との連絡会議</li> <li>・はぐくみネット情報誌の配架・提供</li> <li>・生涯スポーツの振興に資するため、区内市立小・中学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で地域に開放</li> <li>・春いちばんふれあいフェスティバルの開催</li> </ul>	前年度までの実績 <28年度> ・出前講座(全43講座) ・生涯学習ルーム一覧の発行・区HPへの掲載 ・生涯学習推進員との連絡会議(年11回) ・はぐくみネット情報誌の配架・提供 ・学校体育施設開放(16校) ・区民まつりにおける生涯学習事業の普及・啓発 ・春いちばんふれあいフェスティバルの開催(参加者:1,000人) <29年度>(29年12月末現在) ・出前講座の提供(全42講座) ・生涯学習ルーム一覧の発行及び区HPへの掲載(6月) ・生涯学習推進員との連絡会議(9回) ・はぐくみネット情報誌の配架・提供 ・学校体育施設開放(16校) ・区民まつりにおける生涯学習事業の普及・啓発

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)		

めざす成果及び戦略 1-2 【自律した地域運営の支援】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	各小学校区において、地域活動協議会による自律的な地域運営が進んでいる。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ※重点目標 ○地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域が一体となって自律的に運営されていると感じている区民の割合 28年度:11.7% →31年度:40%以上 【参考】「地域活動協議会を知っている」と答えた区民を母数とした場合の割合 28年度:79.1%→31年度:90%以上	・地域活動協議会が地域住民に知られるよう支援するとともに、地域活動協議会に対して、「準行政的機能※」が求められていることについて、地域住民の理解が深まるよう働きかける。 ※校区等地域内で、他の市民活動団体が行ってない地域活動をカバー(補完)しながらまちづくりを進めていく機能 ・地域ごとの特性や地域課題を把握したうえで、地域実情に応じたきめ細かな支援を実施する。 ・地域活動協議会が総意形成機能を期待されていることについて、構成団体はもとより、地域住民の理解が深まるよう働きかける。 ・総意形成機能を発揮するために地域活動協議会が備えておくべき要件が、継続して満たされているかどうかについて、定期的に確認する。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度   個別   全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A: 順調 B: 順調でない	
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	

具体的取組 1-2-1 【地域活動協議会に対する財政的支援】

28決算額 27,189千円 29予算額 27,192千円 30予算額 27,194千円

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム) 本補助制度を地域の実情に即して有効に活用できたと感じている地域活動協議会の割合:60%以上 【撤退基準】 地域活動協議会の構成団体等が本補助制度を地域の実情に即して有効に活用できたと感じている割合が50%以下であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 ・全11地域に補助金を交付(29年5月) ・補助金に係る説明会を開催(29年6月)
	地域コミュニティの活性化や防災、防犯対策の強化、子ども・青少年の育成、健康・福祉の向上など、地域課題への対応・解決に向けて、地域活動協議会が地域の実情に即して主体的かつ柔軟に活用できるよう財政的支援を行う。 ・区長が指定した分野の活動を行った地域:全11地域	

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組1-2-2

【地域活動協議会に対するきめ細かな支援】

28決算額 15,942千円 29予算額 16,780千円 30予算額 15,257千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	まちづくりセンターと連携し、地域特性や地域課題、地域活動協議会の活動状況や運営上の課題などについて、客観化・明確化し、地域ごとの支援計画を策定する。	地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：90%以上
	まちづくりセンターの助言や指導、コーディネート等を通じて、新たな人材や財源を確保し、地域活動協議会の活動内容を充実させ、自律的な組織運営に向けた取組を促す。 ・まちづくりセンターが行う助言や指導、コーディネート等：2回/地域	【撤退基準】 地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合が29年度(89.0%)の数値未満であれば事業を再構築する。
	前年度までの実績	
	まちづくりセンターと連携し、地域活動協議会に自律的な地域運営に向けた支援を実施	

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組1-2-3

【地域活動協議会の認知度向上に向けた支援】

28決算額 -円 29予算額 -円 30予算額 -円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	まちづくりセンターと連携し、地域活動協議会の認知度が低い原因を分析したうえで、地域実情にあった手法を検討し、認知度向上のための方策を支援する。 ・認知度向上のための支援：11地域	地域活動協議会を知っている区民の割合：35%
		【撤退基準】 地域活動協議会を知っている区民の割合が29年度の数値(24.4%)未満であれば支援の方法を再構築する。
	前年度までの実績	
	まちづくりセンターと連携し、地域活動協議会に自律的な地域運営に向けた支援を実施 地域活動協議会を知っている区民の割合：24.4%(29年度無作為抽出アンケート)	

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)



具体的取組1-2-4

【地域活動協議会の準行政的機能についての理解度向上】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域を担当する職員が、地域活動協議会に期待する準行政的機能の趣旨について、地域活動協議会の役員等に説明を行う(全11地域)  ・地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度 受験率100% かつ 理解度全員95点以上	地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合:80%以上  【撤退基準】 地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合が29年度(75.9%)の数値未満であれば事業を再構築する。
	前年度までの実績	・地域活動協議会に期待する準行政的機能の趣旨について、地域活動協議会の役員等に説明を行った(全11地域) ・地域を担当する職員等のeラーニング受験率及び理解度 受験率100% 理解度全員95点以上

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組1-2-5

【地域活動協議会の総意形成機能の充実】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域を担当する職員が、地域活動協議会の役員や構成団体に総意形成機能を期待されていることの説明を行い、その機能を発揮するために備えておくべき要件の確認を行う(全11地域)  ・地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度 受験率100% かつ 理解度全員95点以上	地域活動協議会の構成団体が地域活動協議会に期待されている総意形成機能を認識している割合:78.0%以上  【撤退基準】 地域活動協議会の構成団体が地域活動協議会に期待されている総意形成機能を認識している割合が、29年度(77.5%)の数値未満であれば事業を再構築する。
	前年度までの実績	・地域を担当する職員が、地域活動協議会の役員や構成団体に総意形成機能を期待されていることの説明を行い、その機能を発揮するために備えておくべき要件の確認を行った(全11地域) ・地域を担当する職員等のeラーニング受験率及び理解度 受験率100% 理解度全員95点以上

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 1-3 【多様な主体の協働の促進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 地域活動協議会をはじめ、市民、NPO、企業などの様々な活動主体が互いに協働し、また、これらの主体と行政とが協働するマルチパートナーシップが拡充されている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・市民活動団体、企業等、行政といった多様な活動主体間の連携協働の促進の意義についての職員の理解を深めるとともに、活動主体の情報を一元的に管理し組織的な共有を図りながら、各地域の実情に応じた支援を行う。 ・特に、地縁型団体に対しては、他の活動主体との連携協働のメリットが実感されるよう事例の情報提供を積極的に行う。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ○校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 28年度:26.3%→31年度:50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度   個別   全体	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A:順調 B:順調でない		

具体的取組 1-3-1 【多様な主体のネットワーク拡充への支援】

28決算額	320千円	29予算額	453千円	30予算額	-円
-------	-------	-------	-------	-------	----

計画	取組内容 コミュニティ育成事業やみなとクモン発掘レクチャー、またまちづくりセンターを活用して多様な活動主体が意見や情報を交換する場を提供し、交流を促進する。  担当職員間で情報共有を行い、地縁型団体の課題やニーズを把握し、他の活動主体との連携協働のメリットが実感されるよう事例の情報提供を行い、新たな連携が創出されるよう支援を行う。  ・多様な活動主体による意見交換会の開催:3回	業績目標 (中間アウトカム) 新たに地域活動協議会とNPO及び企業等とが連携した取組を行った件数:5件  【撤退基準】 新たに地域活動協議会とNPO及び企業等とが連携した取組を行った件数が3件以下であれば事業を再構築する。
		前年度までの実績 地域活動協議会とNPO及び企業等との連携(5件) 企業まちづくり交流会 企業の個別訪問により、地域貢献活動へのコーディネートを実施 みなとクリーンアップ大作戦(大阪マラソンに向けた美化活動) 港区ワークス探検団(職場見学・訪問) 大阪市港区防災サポーター登録 多様な連携協働の機会の創出のための「港Lab計画」クラウドファンディングセミナー実施

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	

戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)
--------------	---

めざす成果及び戦略 1-4 【多様な市民活動への支援メニューの充実】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 市民活動団体を支援する区役所やまちづくりセンター等の職員が、地域資源情報や支援メニューなどを活用し、市民活動団体のニーズに応じた支援情報を提供し、地域活動が活発に行われている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・「めざす成果及び戦略」の1-1~1-3の支援にあたっては、市民活動団体を支援する区役所やまちづくりセンター等が地域資源情報や支援メニューの情報を活用し、市民活動団体が求める情報を適切に案内できるよう、地域資源情報や支援メニューなどを一元的に収集・管理し発信する「市民活動総合ポータルサイト」を充実させるとともに、市民活動団体や民間の中間支援組織にもその積極的な活用を働きかける。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ○身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 29年度:49.9% 30年度:52.0% 31年度:55.0%(29年度比5%増) ○地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合 29年度:26.1% 30年度:28.0% 31年度:30.0% ○地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域が一体となって自律的に運営されていると感じている区民の割合 28年度:11.7%→31年度:40%以上 【参考】「地域活動協議会のことを知っている」と答えた区民を母数とした場合 28年度:79.1%→31年度:90%以上 ○校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 28年度:26.3%→31年度:50%以上 ○地域の活動において、コーディネート力やファシリテーション能力などを持った人材が活躍していると感じている区民の割合 28年度:1.9%→31年度:10%以上 【参考】「地域公共人材の活動を知っている」と答えた区民を母数とした場合 28年度:85.7%→31年度:90%以上	・また、課題に応じてまちづくりセンター等や派遣型地域公共人材などが適切に活用されるよう、それぞれの活用方をわかりやすく取りまとめ、活用を促進する。  ・職員がまちづくりセンター等の職員と連携して、持続的な活動のための財源確保の手法としてのCB/SB化、社会的ビジネス化を的確に支援する。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度   個別   全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A: 順調 B: 順調でない		
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	

具体的取組 1-4-1 【地域の実態に応じたきめ細かな支援】

		28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	- 円
計画	取組内容 地域活動協議会の自立運営に向けた支援を進めるため、まちづくりセンターと連携し、地域の現状や課題を分析し、地域実情に即した支援計画に基づき、きめ細かな支援を行う。  派遣型地域公共人材の機能について、区HPやSNS等で発信し、幅広い市民活動団体等に活用を促す ・派遣型の地域公共人材の活用:1件	業績目標 (中間アウトカム) まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合:90.0%以上 【撤退基準】 まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合が29年度(89.9%)の数値未満であれば事業を再構築する。					
			前年度までの実績 地域カルテ作成:11地域				
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
自己評価	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					
	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	まちづくりセンター等と連携して、持続的な活動のための財源確保の手法としてのCB/SB化、社会的ビジネス化の支援を進める。  ・CB研修会の開催：1回	区が関与したCB/SB起業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数：2件 *平成29年度～平成31年度の3年間で6件  【撤退基準】 区が関与したCB/SB起業、社会的ビジネス化事業が創出されなければ事業を再構築する。
		前年度までの実績
		広報紙配布事業を活用した社会的ビジネスに取組んでいる地域 27年度 7地域 28年度 8地域 29年度 8地域

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	